野若菜編『やもめぐらし』を読む

婚が何かもわからないままに

タル・プラデーシュ州にある

2007年12月15日(土曜日)

やもめぐらし 寡婦の文化人類学 5・31刊 四六判343頁 本体3200円

すごさなければならない彼女 たちを描いている。 この映画は一九三八年、結

THE BOOK REVIEW PRESS

8

この映画をみながら、ウッ

させられるのが珍しくなかっ の女の子は金持の老人と結婚 本の映画をみた。貧しい家庭 うディーパ・メータ監督・脚 同生活を送りながら、一生を ある未亡人のための施設で共 死後、ヒンドゥー教の寺院に たインドの植民地時代、夫の 最近、「ウォーター」とい る。そして、それだけでなく、 で許可がおりず、スリランカ インドの独立のために闘った 内容からかロケ撮影はインド けも描かれている。衝撃的な に迎えるインドの新しい夜明 マハトマ・ガンディーととも いる。こうしたインドの未亡 人たち。みんな腹をすかせて 事をさせられている十八歳の ら近くの金持相手に売春の仕 るやさしいシャクンタラ、長 ヤを中心に、チュイヤを見守 減らしのために父親に施設に 未亡人になって髪を剃られ、 人の過酷な生活を描いてい 老格のマデゥマティ、彼女か 連れて来られた八歳のチュイ 白いサリーを着せられて、ロ カリヤニ。他の年老いた未亡 知った。 映画の中の彼女たちは、現在 覚を映画の中に感じていた。 ていた。彼女たちに抱いた感 の寡婦たちのことを思い出し 「寡婦の町」ヴリンダヴァン

りされていないのではないか ら三人の娘を育てている友人 と思っていたところで本書を のであるが、インドにはそう を残され、ビジネスをしなが ドを持って寡婦生活を送って ついての研究が日本ではあま だ。いずれにしても、寡婦に した寡婦がいることも確か にはたくましさを感じている いる知人、りっぱな家と財産 再婚など念頭になく、プライ しかし、息子たちに囲まれ、

らず、ケニアのルオ社会とキ 漢人社会、オーストリア、イ のブギス社会、韓国、中国は プシギス社会、インドネシア 研究はインドだけにとどま ともに霊界へと行かなくては 絞殺されていた。絞殺者は女 性自身の息子や兄弟である。 一彼女たちの魂は夫の魂と

のマヌス島とテワーダ社会と タリア、パプアニューギニア いった世界各地に及ぶ。こう 類学者たちが出会った「やも ワークを行った社会・文化人 した異文化社会でフィールド めぐらし」の人びとについて 殉死)が行われた理由と類似 なる」からだそうである。こ わなければいけない者がずっ 全体、とくに息子や絞殺を行 れはインドのサティー(寡婦 と不名誉を着せられることに いけない。そうしないと家族

その島での寡婦殉死は、男性 ヌアツ・アネイチュム島、イ で、夫が死んだときその紐で れたという。結婚したときか 書かれたものである。 が亡くなるとその妻は絞殺さ 女性の過去と現在とキリスト イチュム島についてはそこの 一つヴァヌアツ共和国のアネ のコラムもある。例えばその ら首に紐をつけるのが慣習 教の影響が述べられている。 法における寡婦について五つ ンド、タイ南部、イスラーム さらにスウェーデン、ヴァ 年に最初のイギリス人宣教師 った。私は荒涼としたサティ ワル。彼女はまだ十八歳であ 薪の上に座り焼死した(サテ 死した夫の遺体を焼く積んだ 寡婦殉死は終ったということ な布教活動によって短期間で 宣教師がやって来て、献身的 が、その四年後にもう一人の ーが行われた跡地に立ち、彼 だ。インドで一九八七年に病 せたことにより十年足らずで ィーを行った)ループ・カン 全島民をキリスト教に改宗さ しかしこの島では一八四八

警察を恐れて声をあげること 無ではない。 をしなくてもまだ擁護者は皆 締まりは一層きびしくなり、 他に類のない本書はどのよ

うか。編者の椎野若菜は「偶 周りのフィールドワークの経 社会における寡婦について、 験ある人類学者たちに声をか が気になりだした」。そして から、彼女の生活にとりこま めた家が寡婦の家だったこと や分科会などを企画し執筆が け、学会でミニシンポジウム 他の社会における寡婦の存在 目をむけはじめた……そして れつつ、ケニア・ルオの村落 然、フィールドで暮らしはじ うにして出来上がったのだろ

なかった。インドではループ 女に一なぜ」と問わざるを得 ・カンワルの事件以後、取り なに年をとってからでも再婚 ューギニアでのように、どん 姿と考えていたが、パプアニ な存在でないことがあるべき ェーデンのように寡婦が特別 始まったという。 本書で報告されているスウ

2850号 ^{定価}240円 (本体229円)

book / music

とどまらず、多様な社会を、 ュアリティがポジティブに、 会」もあるのだ。一つの国に 寛容にとらえられている社 おもしろい。「寡婦のセクシ が可能であることを知るのも ることができるのは魅力だ。 現地の人々に愛され暖かい交 れしい。 ークを行う人類学者の姿もう 流を持ちながらフィールドワ (帝京大学短期大学準教授·

過去から現在を、比較して知